

2022 年 (令和 4 年)

新春号

[第 31 号]

発行 東京鉄構工業協同組合
 〒 104 東京都中央区八丁堀 3-9-5 KSビル6階
 - 0032 TEL : 03 (5 5 6 6) 1 5 9 5
 FAX : 03 (5 5 6 6) 1 5 9 7

Tokyo
Steel-rib
Fabricating
Association

Report

東構協

<http://www.tsfa.jp/>


◀ 歌舞伎座
▶ 銀座の時計台



2022 年 団 結

理事長 吉岡 晋吾

新年あけましておめでとうございます。昨年、日本国内では、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の再発が個人消費を停滞させ、半導体などの不足によって供給制限に伴う生産低下により国内需要のダメージは計り知れないものとなりました。ただ、直接的な感染対策としてワクチン接種など、そして東京五輪の開催により国民感情の高揚による免疫力のアップなど間接的な要因により年末にかけて景気が戻り始めてきています。

その中で東京鉄構工業協同組合は、継続的に体温測定、消毒、そして SNS やリモートを併用した理事会、講習会などの活動を行ってきました。2022 年も自主管理のもと感染対策を講じながら活動をしていくつもりです。

私が東京の組合に入ったのが 25 才、1986 年で今年 35 年になります。当時バブルの全盛期でしたが、青年部に所属していたため、どれほどの恩恵を受

けたのか覚えはありませんが、日本国内に活気があったのを覚えています。その後約 51 カ月でバブルが崩壊するときに、事業以外の株や不動産等で負債を抱え倒産する会社が後を絶たなかったことも記憶に残っています。そのころ東構協の初代理事長は弥生建設工業の小林社長でした。青年部に入りたての私にとっては神様のような存在で沢山のことを学び経験をさせていただき今の私の礎になっていることは、間違いありません。そしてある講習会において小林理事長が「会社の机やロッカーに鍵をかけているか」との質問に自分も含めてほとんどの人が「かけていません」と答えました。すると小林理事長は、「もし鍵をかけなくて机やロッカーから物がなくなった時に従業員を疑わないためにも鍵は必ずかけなさい」と言われ従業員を大切にすることを教えていただいたことを今でも鮮明に記憶に残っています。

その後、二代目那須ストラクチャー工業の金子社長が理事長になられ、「こ

れからは品質保証をする時代が来る」といわれ、製品検査の重要性や工場内の品質管理の各種勉強会を開催されました。三代目には池田鉄工社長の池田理事長が就任され、全国の同業者や各メーカーなどと交流を図り横の繋がりを主として仕事や値段の共有を図って値崩れ防止に尽力されました。四代目の飯田製作所の飯田社長の時代には、構造設計者との交流や意見交換をし、また、行政に対して陳情を行い、鉄骨業界の位置付けを PR し、個人では各種パテントを取得するなど根っからの技術者でありました。

これらの大変すばらしい大先輩の方々にはたくさんの教をいただき東構協の現在があります。全ての組合員の皆さん、協力会の皆さんとまた、そして組合を支えていただいている蓬田事務局長、藤澤さん、これからの組合の主軸となる青年経営の皆さんの新たな発想や行動力に期待しまして、東京鉄構工業協同組合は 2022 年もさらなる団結力をもって進化していくつもりです。体制に死角なしと言ってもいいでしょう。

2021 年 5 月で還暦を迎え 12 月には 3 人目の孫が生まれた吉岡晋吾より

(吉岡工業社長)

組合理事役員

年頭のあいさつ

手段・目的



副理事長
総務・広報委員長
前田 茂昭

【～2000年代 記憶・紙への記録】

とりあえず覚えておく。女房に覚えておいてもらう。手に書いておく。カレンダーに予定を記入する。手帳に予定を記入する。会社の台帳に記入する。付箋に予定を書いてパソコンに貼り付ける。図面を印刷してデスクの邪魔になる所に置いておく。

これらは全て以前の私がスケジュール管理、仕事効率化？、忘れ物・事防止に使ってきた方法である。皆さんも試してみた方法も多いと思うが、それぞれにデメリットもある。女房はすぐ忘れて逆ギレするし、手に書いても風呂に入れば消えてしまう。手帳にもカレンダーにも同じ予定を何度も書くのも苦痛であるし、その手帳を忘れて予定が思い出せないこともよくあった。付箋をベタベタ貼ったところで付箋に囲まれたパソコンを見ることすら辛くなってくる。図面は多色ボールペン手書きであれこれ書き込んだりしていたが、きちんとファイルする癖が身についていないので年末のゴミが大量発生。またその図面を他人にメールする際は清書してスキャンしてデータ化してやっとメールに添付するという多重アクションが結構な負担だった。

【2010年代～IT化】

エクセルでリストを作る。スマホのリマインダーを設定して任意のタイミングで発報させる。カレンダーアプリ

に予定を登録して任意のタイミングで通知させる。自分にメールを送る。タブレット活用。クラウド活用。

先代が亡くなって私が会社の代表になったのがこの頃。仕事量が激増し、今までの方法ではスケジュール管理すら危うくなってきて、とりあえずエクセルでシンプルなりリストを作ってなんでもかんでも書いてみた。入社してパソコンの電源を入れるとまずこのエクセルファイルを開いて予定を確認。今で言うToDoリストのような感覚だが、あれ？直行の日はどうしよう？エクセル見れないやん。。。まだまだ手帳が手放せなかったのが2010年頃か。そして2011年に初のスマホゲット。機種は某アップ○社の某iPhone4か4Sだったか？まだこの頃はスマホ導入に抵抗があり、悩みに悩んで『まあ電話出来ればいいや』と開き直った軽い気持ちのフリをして購入したが内心ビクビクである。ところがこれが素晴らしい誤算で、出先でもネットもメールも見られるわ、カレンダーアプリは無料で使い放題だわで、仕事にプライベートに有り得ないぐらい活躍してくれた。手帳にも付箋にも女房の記憶にも頼ることはほぼなくなった。

2年ほど前からはパソコンとスマホに加えてタブレットも導入。各端末を個々に活用しつついくつかのアカウントを連動させている。これのおかげでスマホでお客様と話していて予定調整の際に「ちょっとカレンダー見るんで待ってくださいね」がなくなった。重要なデータはクラウドに保存されているので「スマホじゃ便所に落としたりおしまいじゃん」という声も気にならなくなった。またタブレットのおかげで図面を印刷する機会が激減した。現場打合せの際などは図面をクラウドに保存しておいてタブレットのノートアプリで開き、某○ップルペンシルで画面に直書きしてその場でメール発送も可能になった。紙と違ってファイルしなくてもいつでも見直せる点もナイス

である。

これだけ効率化すると仕事なんて半分ぐらいの時間で済んじゃうんじゃないの？という気がするが、不思議と日に日に残業時間が増えていくし、土日は家でもだらだら仕事をする機会が増えた。なのに会社の売り上げはせいぜい平行線である。ちょっといつでもどこでも仕事で来てしまう環境にこだわりすぎて方向性見失ったかな。2022年は効率化は目的ではなくて手段であることを再認識！これでいきます。

(前田製作所社長)

縄文時代



副理事長
経営近代化委員長
松田 一朗

確か六才ぐらいの頃、遮光器土偶を図鑑で見ても異様な姿にショックを受け以来、縄文にはまってしまった。五年生で歴史の授業が始まり、いよいよ縄文土器の謎が解けるのかとワクワクして待っていたのを覚えている。ところが最初の授業は縄文時代にはあっさり触れただけで弥生時代へ進んでしまい、歴史への興味が一気に冷めた。

意外にも縄文文化の研究は戦後に活



発になったのだそうだ。皮肉なことに GHQ の占領政策により「神話教育の否定」のために、縄文考古学が奨励された背景があったという。

添付写真は縄文後期の土偶。ロダンの「考える人」よりも数千年前の遺物。非常に手間暇のかかる勾玉などの装飾品を多く持ち、人を殺すための武器は持たず、縄文時代は 1 万年以上続いた。「実績のある」持続可能な社会だ。まだまだ私達は自分自身のルーツをよく知らない。現代社会は縄文時代にこそ学ぶべきことがあると思う。

(松田鋼業社長)

フォローお願いします m () m



理事

池田 和隆

今年に入ってから、業界と企業の PR を兼ねて、「インスタグラム」を営業日に毎日かかさず投稿を更新しており、11 月 15 日現在、投稿数 277 件、フォロワー 2529 人となっております。このフォロワー数はそこそこの数字のようです。

きっかけは、静岡の鉄骨業者さんが、インスタグラムなどに非常に力をいれていて、中途社員を募集したときに、応募する人がその企業のインスタグラムをみて、応募してくるという話を聞いたことが始まりです。

私が、昨年インスタグラムを開始したときは、不定期に更新しておりましたが、その鉄骨業者さんは、広告担当がいて、その担当者がインスタグラムなどの発信を毎日欠かさず更新しており、フォロワー数とまめな更新が大事です、とおっしゃっていただきました。

まずは、同業他社のフォローから始まり、鉄関係を扱っているところ、ステンレス、溶接工、鉄骨葺さん、鍛冶

トビさん、運送業者さん、重機屋さん、海外の鉄骨業者などフォローをして、相互フォローもしてもらい、フォロワーになって頂いています。

インスタグラムは自撮りをしたものを投稿したり、企業が広告で使ったりと、ネットを活用して、紙媒体ではなく、自分発信で様々な写真や動画を投稿できます。

投稿方法はそれほど難しくなく、掲載したい画像とハッシュタグと呼ばれる「#」のあとに、関連ワードを付けて掲載することで、ハッシュタグのキーワードに興味を持っている方が、掲載したインスタグラムのページを閲覧し、興味をもってくれたら、フォローして、その方のフォロワーとなります。

弊社も昨年夏ごろに中途社員を募集したところ、インスタグラムの効果があっただけではありませんが、応募が予想以上に集まり、3 名の社員を採用することができました。

投稿することは地道な作業ではありますが、情報過多の今、金額を掛けずに、企業の情報を積極的に発信することで、その企業の雰囲気であったり、そこで働いている人の人となりだったり、この企業はこういったものを製作しているのか、と企業側から発信することができます。

最近では、インスタグラム用に GOPRO (ゴープロ) を購入し、手振れの心配なく撮影しております。

インスタグラムを通して、建設の専門業者で、まだまだ認知度が低い、鉄骨加工業 = 鉄骨屋の認知度 UP の一助になれば幸いです。

皆さんもフォローお願いいたします。



(池田鉄工社長)

コロナで変わったこと変わらなかったこと



理事

森 芳恒

コロナ禍と言われ 3 年目になろうとしています。2021 年とはとにかく外出しない時間が増えました。営業はもちろん、会議もリモート・講演会もリモートとなり家からも会社からも外出する機会がごとく無くなった 1 年だったと思います。それでも会社は何とか鉄骨工事を受注し続け工場は休業することもなく動いてきましたが、最も変わったことは、コロナ禍中にはこんな世の中で仕事を失ったり転職せざるを得ない方が多くいてかなり多くの方が当社にも面接に来てくれたと思います。そして、今までではまず出会えなかった人に多く出会えたのではなかったと強く感じています。

もともと求人の応募状況は 3 K の上に交通の便が悪い当社にはほとんど応募がありませんでしたが、芸術家の方や理系の研究職だったとか通訳であった方など全く出会う機会もなかった方々と出会うことができた事が予期せず訪れたのです。こんな、リモートで会議や面接をしても物事が進まず大変になった分、このような状況にならなければ訪れなかった人々との交流ができた事がコロナ禍で最もよく変わったことでした。

そして、変わらなかったことは、最近外出せずにお金がたまったという話をよく耳にしますが、全くたまりません。むしろ仕事が減った分残業時間も減り、収入が減ってきているのではないのでしょうか、これはやはり仕事の付加価値を高めることを考える良い機会なのかもしれませんが、ただ黙って過ごしてはマイナスに変わってしまうので何とか価値を高める努力を今年

は考えるようにするつもりです。

最後に変わったことは飲みに行く機会がほとんどなくお酒には確実に弱くなってしまったことでしょうか？

(日本鉄構建設工業社長)

カーボンニュートラルについて思うこと



理事

椎名 輝雄

最近、カーボンニュートラル、脱炭素といったキーワードをテレビや新聞で耳にするあるいは目にする機会が増えていきますね。輸出などグローバルに事業を展開する大手製造業を中心に「CO₂の排出実質ゼロ」の取り組みを自社の成長戦略に組み込むなど、競争力の維持・強化のために各社がしのぎを削っているとか。身近な例では高炉メーカーによる脱炭素関連の設備投資が挙げられ、これが原料価格の上昇とともに鋼材値上げの要因となっています。

高炉メーカーではゼロカーボン・スチールへの挑戦が始まっていますが、研究開発費に5000億円、製造設備の実装に4～5兆円規模の投資が必要と見込まれ、粗鋼生産コストは現状の倍以上になる可能性があるとのこと。目指すは、大型電炉での高級鋼量産と100%水素直接還元プロセスによる製鉄技術の実用化にあり、とりわけ水素還元製鉄技術の確立は前人未到の革新的イノベーションと言われています。

日本製鉄は鉄鋼業の国際競争力を維持・強化していくため新しい製鉄技術開発を経営の最重点課題として取り組むと表明しています。こうしたゼロカーボン・スチールなどへの大型投資を見据えて健全な財務体質を確保する方針の下、「巨額の研究開発費、(新型高炉、大型電炉の)実機化のための設

備投資、操業コストの上昇等、ゼロカーボン・スチール実現に際するコスト上昇を社会全体で負担する仕組みが必要」とも。当然、コスト負担の矛先は需要家にも向いていて鋼材値上げという形で現れ、それを鉄骨単価に反映できずに四苦八苦しているのがわれわれファブの現状です。

昨年は年初から鋼材値上げが業界の関心を集め、市中価格は2008年8月以来の高値水準となっただけでなく、ロールコラムなど品種によっては過去最高値を更新しています。春先以降、ファブリケーターの材料調達価格にもその影響が目に見えて及んでおり、他の諸資材、消耗品などの値上がりなども含めるとこの約1年間で鉄骨生産コストは5～6万円上昇しました。問題はコスト上昇を客先に転嫁できていないことで、鉄骨単価の是正が急務であることは言うまでもありません。

この2年間ほどは需要の端境期とコロナ禍が重なり、仕事量が減少したことから鉄骨単価が軟化基調で推移しているところに鋼材値上げの波が押し寄せてきました。ファブ各社は収益悪化に直面しているわけで、このような経営環境のマイナス方向への変化に業界全体がもっと強い危機感を持つべきではないでしょうか。

需要面では回復傾向が続き、少なくとも先行き数年間にわたって明るい展望が開かれているようです。そうした中であって「骨折り損のくたびれ儲け」とならぬよう鉄骨単価の是正は不可欠であり、今がまさにその正念場と言えましょう。

脱炭素=ゼロカーボンの実現は日本産業の浮沈に係わるテーマだけに社会全体、あるいは建設産業に限れば建築物の生産に携わる全ての企業が負担を分け合うべきであり、ファブなどの下請け業者だけにシワ寄せがくることは許容できません。各社が適正な単価で受注できるようコスト高の現状を客先や社会に訴えて理解を求め、鉄骨屋の

利益持ち出し“ゼロ”を実現し、今年は良かったと振り返れる1年にしたいものです。

(叶産業常務取締役)

新型コロナ



理事

坂爪 幸男

2019年12月8日、新型コロナウイルスが最初に確認された日と言われている。

当初はインフルエンザの少し強毒性の強いウイルスで冬に爆発的に流行し、ワクチンと自然治癒力と抗体を持てば夏ごろには収束に向かうのかと思いきやとんでもなく世界的に流行した(現在でも進行中である)。

2021年12月12日現在、日本国内において感染者数172万8476人、死亡1万8372人と恐ろしい数に上った(全世界においてはもっとひどい)。

現時点において日本では少し小康状態ではあるが、世界では大変な感染者とオミクロン株という恐ろしい変異株が猛威を揮いそうだ。オミクロン株が強毒性か弱毒化するかはまだ不明だが、ここまで世界を恐怖に陥れたのは60数年生きた中では記憶になく、いつまで続くのか明るい兆しが見えてこないのが現実である。

これは偏に地理的距離は変わらないが、人類の叡智により交通網の発達により昨日アフリカで発症したことが、今日は日本で起きているという恐ろしい状況がある。

これからは言わずと知れたことだが家族の大黒柱を失った人たち、仕事を無くされた人たち、国民、経済、国の財政すべてにおいて疲弊している。国は何とかして経済、暮らしを立て直そうとしているが、焼け石に水状態。こ

れがどこまで続くのかわからないが、まずは一人ひとりが自覚をもって対処していくほかないのでは？

先の見えないトンネルのようだが気だけは確かに持っていききたいと思う。

しかし、昨今の政府の対策を見ると 18 歳以下の子供への 10 万給付。もう少し味のあることができないのか。現金 5 万残りの 5 万はクーポンとする。しかし、クーポンにすると莫大な事務費がかさむという。無駄は省きたいと思う。給付金は本当に苦しい方に渡すことができないのか、苦しくても歯を食いしばって頑張っている方に手をさし伸ばせないのか？

コロナが一段落した時に莫大なコロナ課税が国民を襲う、それもまた恐怖に感じる。東日本復興税も冷めやらぬ中、二重、三重の税金にも潰されそうな気がして心が休まらない気がする。

(坂爪建鉄工業社長)

地域貢献



理事

金本 貴範

弊社は葛飾区で工場を営んでいますが、周りはマンションと一戸建てが多い立地です。弊社が営業した 57 年前は田んぼや沼地ばかりで直線距離で 800m 離れている最寄りの JR の駅まで見通せたようです。その後、民家や工場など建設され、工場横はパチンコ屋さんや映画館だったと先代から聞いております。

私の幼少期も周りにゴム製造工場や機械工場などが多く、騒音やにおいなどの公害も少なくなかった準工業地域でした。それが殆ど移転や廃業でなくなりました。小学校も 3 校あったのが 2 校に統合、地元工務店がなくなり、スーパーマーケットも 3 店あったのが

1 店舗に、駄菓子屋さん 3 軒あったのが皆無に、私の通っていたスイミングスクールもなくなり、商店街に活気がなくなり、店舗閉鎖や倒産などで商店街も組合が解散し、土地が空けばマンションや建売一戸建てができ、この 20～30 年でかなり様変わりしました。

以前は地元地域の人たちが多く、皆顔見知りで町内会の顔合わせや意見交換などのコミュニケーションができていました。近年はマンション建設や建売一戸建てに居住した人が多く、弊社の工場に「なんであんなところに工場があるの?」といった声も聴かれます。

昨年初めて役所の方に弊社工場から騒音の苦情が入ったという知らせを聞きました。偶々、外壁工事をしていたので近隣に音が漏れることがあったと思います。役所の方と協議して 2 層構造で考えていた外壁を 5 層にすることで音漏れもなく規定値以内の騒音レベルになっていることを確認して頂きました。外壁に当初の予算の倍の金額が掛かってしまいましたが、長い目で見ればよかったことだと思っています。

苦情などの悪いことばかりではなく、子供が不審者に付きまとわれて弊社工場に駆け込んで保護したり、ひったくり被害のあったおばちゃんが助けを求めてきて保護し警察に通報し、弊社防犯カメラからひったくり犯の逮捕に活躍したり、自転車の空気を入れてあげたりと感謝されることも多いです。

また、繋がり無くなった地元住民に目を向けるために、【子ども食堂・葛飾町工場物語の認定・周辺道路清掃活動・葛飾区との災害協定・こども 110 番・AED 設置・ペットボトルキップワクチン・公園修繕・停電時近隣住民への電源供給】等と、実際の鉄骨事業とは関係ないことではありますが、都内ならでは、必要なことではないかと思進めています。金銭面から言うとかかなりの金額が掛かっていますが、これも地元愛への一つの投資として今後も取り組んでいきたいと思っ

ています。

(日伸鉄工建設社長)

カッコいい人でありたい



理事

小室 健太

私はカッコいい人でありたいと思っています。容姿端麗、派手に着飾りたい、というわけではありません。見た目と言えば容姿端麗でなくとも清潔感を保つために努力をしています。匂いや髪型、髭、爪、そしてよく漏れがちなのは靴の汚れ。こういったことに気を付けていたら取引先や社員に自己管理ができていると思ってくれる、と期待しています。中身のかっこよさについてもそうです。

私は常にレスポンス良く対応することを心掛けています。すぐに返事ができない内容でも何時までに返事をします、という返事を入れるよう心がけます。そうすることで相手は自分を信用してくれると信じています。

常にスマホチェック! というわけではないのですが、何事もバランスは大切です。

これは社内の案件に対してもそうです。社員からの困りごとは何よりもチャンスです。社長、役員だからと言って怠ってはいけません。社員はちゃんと見えています。役員だから無条件に信用できるわけではないです。応えたらきつこちらの要望にも応えてくれます。まず与えること。そこから関係を始めます。

ここまでのことを含めて言えることですが、自分を決めるのは自分ではありません。自分を決めるのは相手です。『自分はこういう人間なのにどうして皆わかってくれないんだ』ではなく、相手がどう思うかで自分は決まると思

います。相手があるから自分があります。何事も自分よがりにならずに、相手のことを考え、相手の立場に立って物事を考える、そんな人に私はなりたい。そう思います。

(小室鉄建常務)

今年も前向きにそして有意義に



理事代理

村木 晃次

昨年もコロナウイルスに気を付けながらの日々ではありましたが、スポーツ観戦でモチベーションを上げさせてもらい前向きに1年過ごすことができました。

2月にはテニスの大阪なおみ選手が2年ぶりに全豪オープンで優勝し、4月にはゴルフプレーヤーの松山英樹選手がアジア人初となるマスターズ、ZOZOチャンピオンシップで優勝、さらに同じゴルフで女子の笹生優香選手が6月に全米オープンで優勝、また野球界においては大谷翔平選手がMVPで受賞するなど世界で活躍する選手がぞくぞく出てくる中、日本では7月23日から9月5日まで東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。

7月24日に渡名喜風南選手が柔道48kg級で銀メダルの獲得から始まり阿部詩選手と阿部一二三選手の兄弟での金メダルの獲得、ソフトボールや野球

などチームワークの強さも世界にアピールしました。新種目の卓球混合ダブルスで水谷隼選手と伊藤美誠選手ペアのドイツとの試合では絶対にあきらめない精神力を発揮し、新競技のサーフィンやスケートボードも含め終わってみれば過去最多のメダルを獲得しました。おしくもメダルをもらえなかった選手も含めスポーツの楽しさや勇気と感動をたくさんの人々に与えました。

昨年10月より政府の緊急事態宣言が解除され少しずつ終息に向かっていますが、新種のオミクロン株が発表され、まだまだ油断できない状況が続いています。そのような中ではありますが、楽しみを見つけ今年も前向きにそして有意義に年を重ねたいと思います。

(アイ・テック建築事業部営業部部長)

COMPLEX



理事代理

松本 龍丈

自分が他人より劣っている感情は誰にでもあるものと思う。廻りからすると何故そんなことを気にしているのかと思われるかもしれないが、一般的な基準や他人の価値観などはあまり関係のないものだ。自身の中で納得、解決しない限りいつまでも引きずってしまう感情なのだから。

コンプレックスには大きく分けて2つあると思う。自身ではどうにもできないものと、乗り越えることができるものだ。前者は生まれつきの障害や人種問題などの差別があるが、この場合には自身の中でその変えられないコンプレックスをどう意義づけられるかが大切だと思う。生きている限りそれは事実として自身の中に共存しているから私とも容姿、人種等を含め、自分とは自分と素直に受け入れる。そして自分らしくあること、全てが同じ人は1人としていないのだからとそう思って生きていたい。

乗り越えられるコンプレックスとは例えば自分の太っている体形に対する劣等感のようなものではないだろうか。この類のコンプレックスは誰も思い当たらないのではないだろうか。これは努力をしてトレーニングや食事改善を継続する事で克服できると思う。それどころかコンプレックスを糧にポジティブな原動力に変換することで将来の道を開く鍵となることがある。さらにそれを乗り越えることが出来れば自信になり、他人の苦しみ等を理解することも可能であろう。

私も57歳の人生を振り返って言うことは、コンプレックスを引きずってもかまわない、自分の中で共存するコンプレックスとどう付き合っていくかが重要でコンプレックスをポジティブに捉え正しい原動力に変えられるようなこれからの人生を生きて行きたいと思う。

(川岸工業取締役営業部長)

10項目の重点事業を採択

第35回通常総会

当組合は5月19日、東京・中央区の東構協会議室で第35回通常総会をリモート併用で執り行った。新型コロナ感染防止のため、出席者を限定して行われ、すべての議案を滞りなく可決

した。

今年度事業計画では、新型コロナ感染防止策による組合活動の停滞防止、HPの大幅改良による効率化推進などを基本方針に、10項目の重点事業に取り組んでいく。

吉岡理事長はあいさつで「コロナに対しては万全な感染防止のもと組合活動を円滑に進めたい。材料の高騰や工

程ずれなどの課題を共有、会員とともに前進を図りたい」と団結を求めた。



全構協共済制度について

大同生命保険

大同生命では昭和 55 年より、全構協の共済制度をお取扱させていただき、組合員の皆さまにご利用いただいています。11 月 1 日現在の加入状況は、全国でご加入社数 771 社、ご加入者数 6,855 人、東構協ではご加入社数 13 社、ご加入者数 133 人です。

東構協における加入率は 28% と全国の加入率 34% を下回っている状況ですので、現在多くの組合員の方にご利用いただけるよう、強力に推進しています。

共済制度の主な特長は①割安な掛金で病気死亡・災害死亡・不慮の事故による入院および身体障がいも、業務上・業務外を問わず 24 時間保障があります②所定の感染症（新型コロナウイルス感染症を含む）により死亡された場合も保障されます③簡単な手続きでご加入いただけます（健康状態の告知をいただきます）④1 年ごとに収支計算を行い、余剰金が生じた場合は配当金が還元されますので、実質掛金負担は軽減されます。（直近の配当還元率は 43.19% です）⑤保障コースも A 型（災害死亡 420 万円・病気死亡 210 万円）から I 型（災害死亡 2,525 万円・

病気死亡 2,000 万円）まで、組合員の皆さまのご要望に応じてお選びいただけます。

けます⑥掛金は損金または必要経費に参入できます。

共済制度は必要最低限の保障をできるだけ安い掛金で確保できる点で優れていますので、是非、福利厚生制度の充実の一環でご利用いただけますよう、よろしくお願いたします。

2021年度

<契約内容重要事項記載資料>

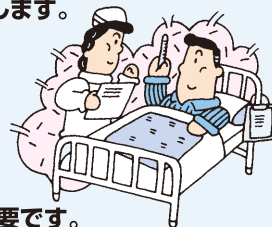
経営の安定・成長を図り人材を守る

全構協共済制度

災害保障特約付団体定期保険

安心を築く保障内容

- 1** この制度は、組合員・役員・従業員のみなさまの企業内福利厚生制度の拡充を目的としております。
- 2** 病気死亡・災害死亡はもとより、不慮の事故による入院および身体障がいも、業務上、業務外を問わず 24 時間保障します。
- 3** 簡単な手続きでご加入いただけます。
(健康状態についての告知が必要です。)
●「加入申込書」及び「告知書」に基づき、委託保険会社が承諾しない場合は、ご加入いただけないことがあります。
- 4** 保険金、給付金は迅速にお支払いします。労災認定も不要です。
- 5** 配当金により掛金負担は実質的に軽減されます。
●1 年ごとに当団体のみで収支計算を行い、剰余が生じたときは配当金としてお支払いします。(収支計算の結果、配当金が 0 となる年度もありえます。)



還元率	2019年度	2018年度	2017年度
	34.11%	50.57%	35.42%

- 6** 掛金は損金または必要経費に算入できます。
(法人税基本通達 9-3-5-9-3-6 の 2、所得税基本通達 36-31 の 2、所得税法第 37 条・第 76 条)
●法人の場合
法人が役員・従業員のために負担した掛金は、全額損金に算入できます。(なお、その掛金は役員・従業員の所得税の対象になりません。)
●個人事業所の場合
個人事業主が従業員のために負担した掛金は、全額必要経費に算入できます。(なお、その掛金は従業員の所得税の対象になりません。)
また、個人事業主がご自身のために負担された掛金(生計を一にする親族分を含む)は、災害保障特約部分の保険料および制度運営費を除いた額が、所得税法上、生命保険料控除の対象となります。
※記載の税務取扱は、2021 年 1 月現在の税制に基づくものです。今後、税務の取扱が変わる場合もあり、将来を保証するものではありません。

意向確認のお願い お申込みにあたっては、本資料をご覧ください、保障内容・保険金額・掛金等がご自身のご意向にあっているか必ずご確認ください。

一般社団法人 全国鐵構工業協会

塩害環境向け高遮断タイエンダーシステムについて

大日本塗料

平素は弊社製品をご愛顧いただき、誠に有難うございます。今般当社では、主として塩害環境における耐久性に優れた新たな下塗塗料を開発・上市することとなりました。本塗料の特長や性能をご紹介します。

1. はじめに

高度経済成長期を中心に、日本国内では社会基盤として膨大な数の鋼構造物が建設され、現在においてもその多くが供用され続けています。これら高齢化した鋼構造物の維持管理の手段として、効果的かつ経済的な側面から、防食塗料を繰り返し塗装することによるメンテナンスが幅広く適用されています。

メンテナンスの実施頻度は塗装される防食塗料の耐久性によって大きく左右されることから、耐久性に優れた防食塗料を適用することで、メンテナンス頻度を減らすことができ、維持管理コスト（LCC）の大幅な低減が可能です。年間2兆4900億円ものコストを

投じ、かつ年々増加の一途を辿っている塗装による腐食対策費の圧縮を目的とし、私たち大日本塗料は耐久性に優れた防食塗料の研究・開発を進めてきました。

そしてこの度、当社が長年培ってきた防食塗料の設計ノウハウを結集した高耐久下塗塗料を開発しました。本塗料は防食用下塗塗料として重要な性能である環境遮断性に特化した塗膜を形成し、特に腐食の著しいとされる塩害環境下において優れた耐久性を示します。

2. 新規開発品の特長

防錆技術

以下に示します3つの防錆技術が生み出す優れた防食効果により、極めて高い耐久性を有し、その効果は特に腐食の著しい塩害環境下（海塩・凍結防止剤）に対して適しています。特に腐食現象が促進される塩害環境下における防食性の評価を目的とし、10,000時間にもおよぶ超長期促進試験を行った結果、従来防食システム（エポキシ樹脂塗料）と比較し3倍以上の耐久性を有することを確認しました。

①遮断効果（Interception Effect）

鱗片状アルミニウム顔料を塗膜内に極めて高い精度で並列配向させることで、従来技術では到達できなかった驚異的な遮断効果を生み出します。

②拡散抑制効果（Anti-Diffusion Effect）

極めて高い疎水性を特徴とする特殊変性樹脂（エポキシ、アミン）から構成される高密度架橋ポリマーにより腐食生成物質の塗膜内への侵入・拡散を抑制します。

③無害化効果（Detoxification effect）

複数の無公害特殊防錆顔料を最適な比率でブレンドし腐食生成物質の侵入経路である鱗片状アルミニウム顔料・高密度架橋ポリマーの合間に配置することで、塗膜内に侵入した腐食生成物質を無害化し、塗膜下鋼材の腐食を超長期にわたり抑制します。

基材適性

鉄鋼のみならず、亜鉛めっき鋼をはじめとする種々非鉄金属面（SUS、アルミ等）に対してすぐれた付着力を有しています。

3. 終わりに

ご紹介した新規開発塗料は、防食用途向け下塗塗料としてこれまでにない優れた耐久性を有し、特に腐食の著しいとされる塩害環境下に対してご適用いただくことで鋼構造物の大幅なLCC低減が可能となります。また、幅広い基材適性を有し、溶融亜鉛めっき鋼をはじめとする種々の非鉄金属に対しても適用可能であり、かつ安全性にも優れた塗料となります。

『第8期』の講義をスタート

東構塾

当組合の青年経営者委員会（幹事長＝松田一朗・松田鋼業社長）が主催する「東構塾」（塾長＝青野弘毅・元那須ストラクチャー工業）は6月19日、組合会議室で第8期の講義をスタートさせた。第8期塾生は9社11人で、今回が第一回開講となる。新型コロナウイルス感染防止策として遠隔地でも受講できるようにウェブ併用とし、会議室には4人が参集、他の塾生はウェブで参加

した。

青野塾長は開講に際して第8期の主題を鉄骨製作の『基礎、基本、応用、段取り』とすることを説明、その意味を説明した上で「この4つを理解して自らが学習する姿勢が何よりも大切」と強調した。当日は『設計図書に対する質疑の内容』をテーマに「仕様」「溶接」などの個々のケースを具体的に解説。「図面から設計が求めている品質を理解して対処することが重要」とした。

第8期の講義は原則、偶数月の第三土曜日に開催、次回以降は「要領書・

工作図」「鋼材」「加工」「組立」「溶接」などの内容で行う予定にしている。同塾世話人の金本貴範理事（日伸鉄工建設社長）は「ウェブ配信併用としており、受講希望者の定員も設けていない。順次、受け付ける」としている。



フリーベース工法について フルサト工業

フリーベース工法は、一般在来柱脚工法に設計の手軽さと、施工の安心感を加えた露出型固定柱脚となります。

一般的な在来柱脚の設計では、設計者が構成部材の検討を繰り返すこととなりますが、建物の応力状態によって異なる柱脚部の必要スペックを建物ごとに検討する手間のかかる作業となっています。フリーベース工法は、そのような仕様設定作業の負担軽減と、部材から施工までの一貫提供による品質確保、および、設計者の意図する柱脚性能の発揮を目的としています。

フリーベース工法は、柱サイズ角形鋼管 150～350 角を用いた、中小規模の鉄骨造建築物に対応しており、伸び能力のあるアンカーボルトを採用することで、柱よりも先に降伏するアンカーボルト先行降伏型の露出柱脚の設計を基本としています。アンカーボルト

の径と本数の組み合わせに対して、ベースプレート形状・基礎柱型形状・鉄筋径と本数・柱脚の回転剛性などの柱脚仕様様が定められており、一貫構造計算ソフト上で型番を選択する事で柱脚仕様を決定する事が出来ます。仕様は各柱サイズに対して 8～18 種類、全 84 種類（アンカーボルト径：M16～M48 / アンカーボルト本数：4 本タイプと 8 本タイプ）、アンカーボルト定着長を 15d とすることで、定着長 20d の一般在来柱脚よりも基礎柱型をコンパクトにすることを実現しています。また、ベースプレートやアンカーボルトなどの構成部材は、大臣認定が必要な特殊材ではなく、建築基準法における指定建築材料となります。

フリーベース工法の施工は、認証を受けた指定施工業者が実施します。メーカー管理下の作業者が、事前打ち合わせ、据え付け、グラウト注入を実施する事で、施工品質を安定させ設計者の意図する設計品質の発揮が可能となります。

設計要領、施工要領、品質管理要領等のフリーベース工法の概要は、一般社団法人 建築鉄骨構造技術支援協会の実大実験ならびに技術評価委員会によりその技術評価（SASST 技術評価第 20-01 号）を取得しています。なお、前述の通り各部材は指定建築材料で構成されているため、部材個別の大臣認定は取得していません。

以上のように、フリーベース工法は、一般在来柱脚工法に、構造計算ソフトへのプログラム組み込みによる反復検出作業の省力化と、指定施工業者による設計・施工品質の確保を付加した、設計者様にも施工者様にも優しい工法となっております。



地区会員名簿

東地区(24社) 地区長 (株)角鹿鉄工 角鹿勝保

No	会社名	グレード	No	会社名	グレード	No	会社名	グレード
1	川岸工業株式会社	H	10	中央鋼材株式会社	M	19	小久保鉄工株式会社	R
2	叶産業株式会社	H	11	株式会社日伸鉄工建設	M	20	株式会社長谷川工業	未
3	株式会社市川スチールエンジニアリング	H	12	中央ビルト工業株式会社	M	21	有限会社矢萩鉄工	未
4	株式会社谷村製作所	H	13	株式会社ヤマダ工業	M	22	株式会社奥村鉄構	未
5	株式会社アイ・テック	M	14	鈴木鉄工建設株式会社	R	23	有限会社幸栄工業	未
6	株式会社前田製作所	M	15	有限会社高市工業	R	24	津覇車両工業株式会社	未
7	吉岡工業株式会社	M	16	株式会社角鹿鉄工	R			
8	株式会社中込工業所	M	17	三進建鉄有限会社	R			
9	富士工業株式会社	M	18	株式会社コイワ	R			

西地区(22社) 地区長 (有)坂爪建鉄工業 坂爪幸男

No	会社名	グレード	No	会社名	グレード	No	会社名	グレード
1	株式会社矢嶋	H	9	井戸鉄建株式会社	M	17	島崎工業株式会社	R
2	東京建鉄株式会社	H	10	株式会社かしや建設工業	M	18	有限会社天野鉄工所	R
3	松田鋼業株式会社	H	11	株式会社三侑鉄工	M	19	有限会社山上建設工業	R
4	池田鉄工株式会社	M	12	有限会社坂爪建鉄工業	M	20	有限会社修和鉄工	R
5	日本鉄構建設工業株式会社	M	13	有限会社金谷鉄工所	M	21	有限会社石川鉄工所	R
6	小島工業株式会社	M	14	株式会社小室鉄建	M	22	株式会社帝都建工	未
7	株式会社鎌建工業	M	15	株式会社ヤマトミ	M			
8	井上鉄工株式会社	M	16	株式会社酒多鉄工所	R			

理事役員会報告

◆1月理事会◆

新型コロナ感染拡大と緊急事態宣言の再発令を受けて1月22日に予定していた理事会の中止を決めた。

◆2月理事会◆

□2月17日、組合会議室□

会議室でウェブを併用した理事会を開催した。

吉岡理事長は冒頭のあいさつで「今後、新型コロナがどのような経緯を辿ろうとも今のリモート活用などの手法を標準として活動に取り込みたい」との考えを示した後、「東京は何かと話題の中心となりやすく、注目を集めやすい。業界も然り。事業や市況への取り組み、組織の在り方など全国の手本になるべく活動を展開していきたい」と協力と理解を求めた。

理事会では2月24日に「溶接ヒュームの法改正／ウェブセミナー」を開催、講師や現在の受講人数などが説明された。また、審議事項では、①定款の変更②第35回通常総会などを協議した。

◆3月理事会◆

□3月17日、組合会議室□

吉岡理事長は冒頭のあいさつで「コロナ禍が来年度も継続するものと想定し、今後も万全な感染対策のもと、組合事業が停滞することのないように着実に進めていきたい」との意向を示した。

理事会では審議事項で総会に関連して、①理事役割分担の確認②定款の変更③今年度収支（見込み）④来年度事業計画会などを協議した。定款変更では理事役員の定数を「10人以上16人以内」、また理事長及び副理事長の選出も「理事のうち理事長1人、副理事長は1人以上3人以内」と現状の組合運営に合わせた変更を承認した。

◆4月理事会◆

□4月21日、組合会議室□

ウェブを併用した理事会では全構協関連では鉄骨業界のPR用ポスター・リーフレットについて協議、配付対象（380カ所）の具体的な方法については継続審議とした。

一方、審議事項では、2020年度事業報告や2021年度事業計画・予算など通常総会に上程する議案を中心に協議した。当日の総会の次第などを取り決めたが、新型コロナ感染拡大防止の観点から、参加者は理事役員のみとし、他の関連行事は一切行わないことを確認した。また、6月18日に予定していた兵庫県での出張理事会は延期とし、当日は理事役員全員参加のリモート理事会に切り替えることにした。

◆5月理事会◆

□5月19日、組合会議室□

理事会では全構協関連では継続審議となっている鉄骨業界のPR用ポスター・リーフレットについて協議。配付対象に関しては東京関連の教育機関数の件数が多いため、全構協と再調整し、その結果をもとに具体的な配付方法について話し合った。理事役員の事業所近郊など1人10～20件を目処にPR用ポスター1部、リーフレット10部をそれぞれ配付する。大学の建築学科の有無など効率的な作業を念頭に、次回理事会までに候補をリストアップすることを決めた。

吉岡理事長は冒頭のあいさつで「会議室に今回新しくアクリル板を設置した。新型コロナ感染防止に対して今後も万全な感染対策のもと、組合事業を円滑に進めていきたい」と述べた。

◆6月理事会◆

□6月18日、組合会議室□

コロナ感染防止対策として、理事長とリモート環境の未整備以外の理事役員は「全員ウェブ参加」として行われた。理事会を原則、ウェブ開催とした



▲6月理事会

のは今回が初めて。

全構協関連では継続審議となっている鉄骨業界のPR用ポスター・リーフレットについて協議した。また、鉄骨製作管理技術者受験準備講習会の開催日程などを審議した。

吉岡理事長は冒頭のあいさつで「ここにきて鋼材価格が急騰、納期もタイト化している。当然のことながら契約面でも慎重な対応が必要となろう。対応策など互いに協力しながら取り組んでいきたい」と述べた。

◆7月理事会◆

□7月14日、組合会議室□

組合のHPのリニューアルについて、作業の進捗状況などを説明。組合員企業の概要や組合の事業活動のPR活動のほか、組合員への情報連絡の共有化などを目的に全面的に刷新される予定となっており、当日は具体的な掲載内容などを含み作業の進捗を確認、同時に近々仮オープンさせる承認を得た。

現状報告では鋼材のほか、デッキやボルトの価格急騰と納期の長期化などに話題が集中。コラムやH形鋼、デッキなど鋼材の急激な価格上昇で見積単価が実際の鋼材手配時と合わず、「契約時のスライド方式の盛り込み」「客先に根拠となる資料提示」などで対応、また、ボルトを含み納期の長期化に対しては、「工程との折り合いを踏まえて早期手配など留意が必要」の声も聞かれた。

◆9月理事会◆

□9月15日、組合会議室□

吉岡理事長はあいさつで「仕事量は十分ではないが、各社とも量的には確

保しているようだ。ただ、鋼材の価格高騰と納期の長期化が深刻化しており、ここにきてコラム、デッキ、高力ボルトなどの入手難がクローズアップしてきている。動向に留意し、早期手配などの必要な対策を講じてほしい」と強調した。

当日はとくに教育・技術委員会からは「ほぼ前年実績並み」とする鉄骨製作管理技術者講習会組合の受講者数が報告された。

理事会終了後には、「溶接ヒューム特定化学物質規制について」をテーマに環境保全（東京都八王子市）の平林亮氏がウェブ上で説明した。

平林氏は作業主任者の選任、特殊健康診断、全体換気装置、個人暴露測定など現場単位での影響やマスクの選定などを分かりやすく解説した。

◆ 10月理事会◆

□ 10月13日、組合会議室□

理事会では7日、千葉県北西部を震源とした地震被害を調査、「各社ともに大きな被害はない」との返事を得た。

当日は審議事項で、組合広報紙「リポート東構協31号」について協議。

今年も予定通り、発行することとし、寄稿などの締切日を設定した。

なお、当日は理事会開催前に「墜落制止用器具のご提案／現場で選ぶべき新規格フルハーネス・ランヤード」をテーマにスリーエムジャパン安全衛生製品事業部販売部東日本グループの一志梓氏が説明した。

◆ 11月理事会◆

□ 11月17日、組合会議室□

吉岡理事長はあいさつで「都内のコロナ感染者数が大幅に減少し、日常に戻ってきた感がある。ただ、感染が収束したわけではなく、その意味では引き続き自己管理が大切。留意しながら業務を進める必要がある」と述べた。

理事会では全構協関連では「特定化学物質作業主任者」資格取得者の把握に関する名簿提出を説明。また、これに関連して特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者の技能講習会の開催について検討することになった。

審議事項では、組合広報紙「リポート東構協31号」、来年1月に開催する賀詞交歓会、2月の出張理事会などについて協議した。

◆ 12月理事会◆

□ 12月15日、組合会議室□

吉岡理事長はあいさつで「材料の高騰や入手難が依然、大きな課題となっている。情報共有や仕事の融通を通じてこの難局を乗り切ってほしい」と協調を求めた。

当日は鋼材の価格高騰と納期長期化の問題では全構協が国土交通省、経済産業省に要望活動を実施したことを報告、併せて地方整備局や自治体等への要望活動について説明が行われた。

審議事項では、①組合広報紙「リポート東構協31号」の発行日②定量的・定性的フィットテストでの係る費用③来年1月19日開催予定の賀詞交歓会の内容などを協議した。さらに、2月の出張理事会は開催地を沖縄とし、参加者や費用など詰めていく。



▲ 12月理事会

管理技術者試験準備講習会 1級153人、2級88人が受講

当組合は9月25、26両日、10月2日の3日間、都内で鉄骨製作管理技術者受験準備講習会を開催した。

25、26両日は製作管理技術者1級向けに、それぞれ連合会館、アットビジネスセンター東京駅八重洲通りで、10月2日は同2級向けに連合会館で行われ、同1級が153人、同2級が88人の計241人が受講した。

講師は鉄骨製作管理技術者1級が羽石良一氏（建築鉄骨構造技術支援協会専務理事）、同2級は大塚英郎氏（大林組東京本店建築事業部品質管理部担

当部長）が担当した。

午前中はテキストとOHPを使用しながら建築法規一般、鉄骨構造、品質管理、鉄骨加工、安全管理など試験問題の概要や要点などを解説、午後からは模擬試験を実施した。



溶接ヒューム講習をウェブ開催 講師は3Mジャパンが担当

当組合は2月24日、「溶接ヒューム・マンガンに関連した法改正」をテーマに講習会を開催した。

講師はスリーエムジャパン（本社・東京都品川区）安全衛生製品事業部技術部の山川純氏が担当。新型コロナウイルス感染防止を踏まえ、講習会はウェブを使用して行われた。

山川氏は、特定化学物質障害予防規則（特化則）等の改正について、全体換気の現状把握、特殊健康診断など実施時期を含みその具体的な対応について説明した。

東京鉄構工業協同組合協力会員名簿

役職	会社名	〒	住所	TEL	FAX	代表者	役職	業種・取扱商品
				E-mail		担当者		
会長	野村産業株式会社	206-0812	東京都稲城市矢野口786-1	042-377-6369	042-378-6375	野村 宗孝	代表取締役社長	高圧ガス、溶材機器 ハイテンションボルト
				nomura-mune@miracle.ocn.ne.jp		小林 映喜	所長	
副会長	富士見興業株式会社	166-0003	東京都杉並区高円寺南1-27-11	03-3314-1430	03-3314-5818	石塚 勲	代表取締役社長	高圧ガス、溶接材料 機械、工具
				honbu@fujimikougyo.co.jp		蒲生紘一郎		
幹事	大日本塗料株式会社 東京営業所	144-0052	東京都大田区蒲田5-13-23 TOKYU REIT蒲田ビル8F	03-5710-4501	03-5710-4520	真鍋 育功	所長	全構協指定塗料 錆止め塗料
				nemoto-taka@star.dnt.co.jp		根本 隆史	主任	
幹事	株式会社アマダシナリー	260-0041	千葉県千葉市中央区東千葉3-15-32	043-207-5235	043-207-5258	小宮 健夫	東日本ブロック長	バンドソー用ブレード
幹事	大同生命保険株式会社 業務部	103-6031	東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー30階	03-3272-6142	03-3272-6589	平川 光典	業務部部长	生命保険 共済保険
				hirakawa.mitunori@dai-do-life.co.jp				
幹事	中村鉄興株式会社	359-1164	埼玉県所沢市三ヶ島1-478	04-2948-0610	04-2949-2209	中村 弘美	代表取締役	切り板 孔あけ
				ntk@viola.ocn.ne.jp				
会計	有修溶工株式会社	340-0833	埼玉県八潮市西袋2番地	048-953-9895	048-953-9896	浪花 俊勝	代表取締役	スタッド溶接工事 材料販売
				stud@yu-shu.co.jp		滝沢 健一	営業部長	
監査	ダイニッカ株式会社 東京支店	104-0032	東京都中央区八丁堀1-9-5	03-3552-3163	03-3552-3162	佐藤 健一	東京支店リーダー	全構協指定塗料 錆止め塗料
				K-SATOU@star.dainikka.co.jp				
	株式会社星和	121-0052	東京都足立区六木2-6-27	03-3605-0817	03-3605-3521	星野 傳弘	代表取締役	鋼材、建築資材 ボルト、ナット、仮設機材
				seiwa@seiwa-web.net		北嶋 重司	専務取締役	
	大陽日酸ガス& ウェルディング株式会社 八王子支店	192-0032	東京都八王子市石川町2973-3	04-2992-0231	04-2998-0570	有川 貴之	支店長	高圧ガス
				tokosi-1@circus.ocn.ne.jp				
	東京電気通信株式会社	162-0065	東京都新宿区住吉1-19 サトクラ曙橋ビル	03-3356-9071	03-3356-9354	遠藤 裕二	代表取締役	情報通信システム NTT コミュ代理店
				okabe@tokyo-dt.com		岡部 直樹	部長	
	所沢資材株式会社	359-0032	埼玉県所沢市若松町852	04-2992-0231	04-2998-0570	小高 進一	部長	ベースバック ハイベース
				odaka@tokoshi.jp		佐藤 庄悟	主任	
	フルサト工業株式会社 神奈川営業所	242-0025	神奈川県大和市代官3-1-2	046-267-5424	046-268-1051	大段 宏幸	所長	鉄骨副資材 ボルト
				f0994@furusato.co.jp				
	株式会社丸和	279-0025	千葉県浦安市鉄鋼通り2-6-8	047-304-0811	047-304-0819	中畑 充弘	代表取締役	縞鋼板専門 鋼板加工
				maruwa.mpc@checkerplate.co.jp		阿部 孝典	課長	
	美鈴印刷紙工株式会社	135-0033	東京都江東区深川2-24-11	03-3643-4485	03-3642-3265	飯島 隆典	代表取締役	印刷・原寸用フィルム
				misuz-film-1@tokyo.email.ne.jp		佐藤 智輝	営業次長	
	株式会社瑞穂鋼建	277-0054	千葉県柏市南増尾1-27-14	04-7173-6652	04-7173-8485	塚田 武治		スペースバック、フリードナツ ファブラックス
				tsukada@mizuhokohken.co.jp				
	株式会社山村	372-0022	群馬県伊勢崎市日乃出町644-1	0270-24-7712	0270-24-9791	内山 直哉	取締役営業部長	レーザー加工、プラズマ加工 ショット加工、開先加工
				youdan@maple.ocn.ne.jp				

※東構協事務局:東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階 TEL 03-5566-1595 FAX 03-5566-1597 G-mail: tsfa.office@gmail.com E-mail: jimukyoku@tsfa.jp

編集後記

令和3年もコロナで始まった。年の暮れには、オミクロン株が新たに登場し、収束がなかなか見えない。組合でもリモート会議を取り入れた。画面を通しての擬似空間では、同じ空間にいないので空気

感が伝わらず、意思の伝達にズレを感じる。画面だけで、人と人との信頼や交流、心の機微を伝えることはなかなか難しい。とは言え、人が一堂に会することなく意見交換を行い、意思疎通を図りながら合議を得るための簡便で有効なツールでもある。終息後も会議用ツールとして利用することとしている。

そして鉄鋼業界では、鋼材問題が大きく浮上、年越しの様相を見せている。ファブ各社は、材料値上り分の価格転嫁及び材料調達などの対応に今後も追われることになりそうである。高騰した材料価格と材料入手難が落ち着き、業界全体がより活況を呈することを願うばかりである。(事務局長 蓮田 正則)